

徳島子どもと教育

徳島県教職員の会

〒771-0017徳島市川内町鶴島115
黄金ビル 徳島労連事務所内
TEL 088-665-6644
FAX 088-665-2117
携帯 090-2891-5189
eメール dp12287892@pf.lolipop.jp
2016年10月20日 210

高校生の進路保障を求める四国キャラバン 県・県教委・経済団体に要請行動

高校生の採用試験解禁日（9月16日）を前にして9月8日、徳島県教職員の会などが、徳島県・徳島県教育委員会・徳島県内の経済4団体に対して高校生の修学保障・進路保障等を求める要請行動を行いました。

要請に徳島・高知・香川・東京から8名

要請行動に参加したのは、徳島県教職員の会・徳島労連・高知県教組・高知高教組・香川高教組・全日本教職員組合の代表者などの8名です。

教育委員会は学校教育課の副課長など6名が40分ほどの要請に対応しました。また、県商工労働観光部労働雇用戦略課では課長が、経済団体は、徳島県経営者協会・徳島県商工会議所連合会・徳島県中小企業団体中央会・徳島県商工会連合会の幹部が対応しました。



経営者団体に要請



県教委に要請

「教育無償化復活」「教育予算増額」等を要請

県教委に対して、「教育無償化の復活」「教育予算の増額による保護者負担の軽減」などの11項目について要請しました。

「香川県や高知県が県独自でUターン大学生への奨学金返済の一部を免除をしている」との私たち要請側の話を受け、県教委からは、「昨年度から知事部局の方で返還免除となる取り組みを始めている」との回答がありました。

さらに、私たちが、「昨年度から県が高校生就学給付金を支給しているとのことだが、市町村の就学援助と変わらない支援をすることが大切だ」と要請したことに対し、県教委からは、「義務教育と連絡して比較していきたい」との回答がありました。

労働者の権利について学ぶ場を

私たちは、「労働者の権利については、まず、教職員が権利意識を持つことが大切だ」「労働者の権利について高校で学ぶ機会をもうけてほしい」などと要請しました。これに対し県教委からは、「国の労働局が作成した労働条件啓発リーフレットを各学校に配布している。商工労働観光部とも連携して『出前授業』を実施している（昨年度は、「働くルール」で3校実施）。」「学校現場の多忙化解消については、県内4教組と県教委事務局で意見交換をしながら解決法をさぐっていかうとしている」との回答がありました。

高卒者の正規採用拡大を経営者団体に要請

経済団体に対しては、「新規高卒者の正規雇用の拡大」「働くルールの確立、働く権利保障」などを要請しました。徳島県経営者協会からは、「本日の要請をニュースにして周知したい」との話がありました。

徳島新聞が9/9朝刊で要請行動を報道しました。

高校生の修学
就職支援要請
県教職員の会
徳島県内の教職員ら
でつくる「子どもと教
育・くらしを守る徳島
県教職員の会」など3
団体は8日、高校生の
修学と就職の支援を求
める要請書を県と県教
委、県内経済4団体に
提出した。
要請書では、高校授
業料の無償化に201
4年度から所得制限が
設けられたことなどを
問題視し、教科書代や
教材費の公費負担を求
めている。
新規高卒者の正規
雇用を拡大したり、労
働者の権利を学ぶ機会
を設けたりすることも
要望した。（佐藤亮）

「クレスコ」を読みますか？



10月も教育運動誌「クレスコ」を使っ
てのクレスコ学習会を行いました。今月はTBS「報道特集」キャスター金平茂紀氏の「世界の取材現場から見た日本」、楠凡之（くすのき・ひろゆき）氏の「保護者とのいい関係」を参加者で読んだ後、感想を述べ合いました。「代理ミュンヒハウゼン症候群」ってみなさん、ご存じですか？私は楠氏の論文を読んで初めて知りました。この病名のことは、（意地悪ですが・・・）クレスコ10月号を読めばわかります。私は、ためになるクレスコの記事を毎月、楽しみにしています。あなたもぜひお読み下さい。また、毎月第二土曜日（月によって変わる場合もあります）はクレスコ学習会を行っています。こちらにも、ぜひご参加を。

（鳴板ブロック IR）